

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実と自律的な学習に向けた取組

AIドリルを活用した自主学习

本市ではAIドリルを試験的に導入して実践検証をしている。これを利用して家庭学習に取り組む児童も多い。これまでは家庭学習ノートにその日の学習について復習する内容が多かったが、AIドリルを使うことで様々な問題に挑戦できたり、自分の好きなタイミングで学び直しができたりするメリットがある。児童によっては、AIドリルと家庭学習ノートを併用して目的をもってAIドリルに取り組み、誤答についてノートに分析したり、習熟のために問題を解いたりする工夫もみられる。

また、担任がワークブックを独自に作成し配信することも可能で、宿題の取組状況や学習内容の理解度を確認できるメリットもある。

個の学びに応じたICTの活用

家庭学習の取組に、様々な工夫が広がり自由な発想の学びが多く見られるようになってきている。

- ・ NIE（News Web Easyを使って、記事への意見）
- ・ ミニ自由研究（インターネット検索を活用した調べ活動）
- ・ プレゼンテーション資料のまとめ
- ・ タイピング練習
- ・ 授業の予習（デジタル教科書／NHK for school等の動画）
- ・ クイズアプリ
- ・ 各種問題が集まったサイトの活用 等

学びの幅が広がり、意欲的に家庭学習に取り組む児童が増えた。自ら決め、自ら考え、楽しみながら家庭学習ができるようになると思う。

